



市議会だより

第82号

2024 (令和6) 年8月10日発行

令和6年6月定例会終わる

- 2 | こんなことが決まりました
- 5 | 市政を問う
- 13 | 政務活動費の報告
- 15 | 議会の傍聴に行ってみよう！



「マチイロ」アプリでスマホからも議会だよりをご覧いただけます。



iOS



Android

三次市議会

Q検索



▲日影館高等学校書道部パフォーマンス

令和6年6月定例会では、

こんなことが 決まりました

6月定例会を6月14日(金)から6月28日(金)まで開催し、議案16件を可決、報告1件を承認、意見書2件を採択しました。今回はその中から3つを紹介します。その他の議案等については、下記のQRコードからご覧になれます。

議案の内容は
こちら意見書は
こちら補正予算は
こちら

議案第63号 三次市立学校設置条例の一部を改正する条例(案)

小学校の統廃合に伴い、関係条例の一部を改正

主な内容

三次市立小童小学校を令和7年4月1日から三次市立甲奴小学校に統廃合することに伴い、「三次市立学校設置条例」の一部を改正します。

- ①三次市立小童小学校の閉校に伴い、条例から名称を削除
- ②敷地内に設置している施設の名称を次のとおり変更
 - (1) [現在] 小童小学校屋外運動場
→ [変更後] 旧小童小学校屋外運動場
 - (2) [現在] 小童小学校屋外運動場夜間照明施設
→ [変更後] 旧小童小学校屋外運動場夜間照明施設



閉校が決まった小童小学校

議案第65号 三次市生産物等直売所設置及び管理条例及び三次市特産物加工施設設置及び管理条例の一部を改正する条例(案)

他の指定管理施設と指定期間の終期を統一

主な内容

君田林産物等展示販売施設及び君田地域農産物等活用型交流促進施設の指定管理者の指定に伴い、関係条例の一部を改正します。



喫茶21番館とおはよう市

【指定期間】 (予定)

令和6年10月1日～令和12年3月31日

【設置目的】

君田林産物等展示販売施設 (おはよう市・喫茶21番館)

地域における高齢者の就労及び生活改善並びに地元農家が生産する農作物の販売を促進し、高齢者の生産販売活動の向上及び地元農業の活性化を図る。

君田地域農産物等活用型交流促進施設 (森の食彩館)

三次市の豊富な農林水産物を活用した新たな加工品の開発及び加工技術の向上を促し、特産加工品の生産を促進することにより、農林業の振興を図る。

議案第71号 工事請負契約の締結について

みよし運動公園の運動広場を人工芝に

主な内容

運動広場は多目的利用に対応可能な施設として、サッカー、野球等多くの種目で利用されていますが、現在、真砂土舗装が経年劣化により波打ち、上層碎石が露出しているため、使用に支障が出ています。運動広場全面に人工芝を敷設し、老若男女、全ての方が安全で快適なスポーツを楽しめる環境を提供します。



改修予定の運動広場

市議会だより第81号において誤りがありました。次のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

〔訂正箇所〕 3ページ 3月定例会審議結果

議案第38号 三次市健康ふれあい施設管理運営基金条例を廃止する条例(案)

誤) 可決(賛成少数) 正) 可決(賛成多数)

委員会審査

各常任委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となった議案等について、6月21日（25日）に各委員会を開催しました。

総務常任委員会

6月21日開催

【付託議案】

議案第67号 「損害賠償の額を定めることについて」ほか1議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

【議案に対する意見】

議案第71号「工事請負契約の締結について」は、低入札価格調査制度の対象となった本契約にあつては、契約締結に至る経過等の公表について検討された。また、施工管理においては、より万全を期して取り組まれない。

教育民生常任委員会

6月24日開催

【付託議案】

議案第58号 「三次市税条例の一部を改正する条例（案）」ほか8議案

【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決



執行部から説明を受ける様子（教育民生常任委員会）

産業建設常任委員会

6月25日開催

【付託議案】

議案第65号 「三次市生産物等直売所設置及び管理条例及び三次市特産物加工施設設置及び管理条例の一部を改正する条例（案）」ほか2議案

【審査結果】

全員一致をもって原案のとおり可決

予算決算常任委員会

6月26日開催

【付託議案等】

議案第70号 「令和6年度三次市一般会計補正予算（第2号）（案）」ほか報告1件

【審査結果】

議案 全員一致をもって原案のとおり可決

報告 全員一致をもって原案のとおり承認

【議案等に対する意見】

報告第12号「専決処分承認を求めることについて（令和6年度三次市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）」は、引き続き歳入歳出の慎重な管理に努められたい。



予算決算常任委員会の様子

委員会中継実施中

定例会では、1日1常任委員会のケーブルテレビ中継を実施しています。ぜひご覧ください。

※インターネット配信及びケーブルテレビでの再放送は行っていません。

各委員長
報告の全文は
こちら





三輝会

くに しげ きよ たか
國重 清隆

動画



質問
1

有害鳥獣被害への支援策は

本市では様々な有害鳥獣被害への対応策、支援策を実施しているが、具体的にどのような取組があるのか。

答弁
1

対策を一緒に考えていくような取組をしていく

児玉産業振興部長

個人や集落で設置される防護柵、箱わなの購入や駆除の従事者確保のための狩猟免許取得に対して支援を行っている。また、狩猟期間中の捕獲に対して報償金を支払う等、駆除の増加につながる支援を行っている。被害に遭われた生産者から相談があれば、担当職員や専門員が現地へ向かい、有効な対策を指導する等の取組も行っている。



市道付近に現れたシカ

質問
2

ひろしまの森づくり事業の周知を

森林の保全や林業体験活動など、住民参加型の里山林の保全活動をしているが、どのように市民へ周知しているのか。

答弁
2

市の広報紙で事業の紹介をしている

児玉産業振興部長

ひろしまの森づくり事業については、市の広報紙・ホームページで事業の紹介をしている。昨年10月には、住民参加型の里山林整備活動を促進するため、機械の貸出し等の周知をしている。また、2月号では「ひろしまの森づくり県民税」「ひろしまの森づくり事業」の活動事例や概要等について、4月号では「ひろしまの森づくり事業」の事業提案の募集の周知をしている。引き続き、事業を広く知っていただくため、取組を継続していきたいと考えている。



三輝会

さい み かつ ひろ
細美 克浩

動画



質問
1

活気ある三次を取り戻すための対策は

人と人、また人と地域をつなぎ、三次を盛り上げるための市制施行20周年記念にぎわい創出イベント等補助金制度に予算額以上の申請があった場合、補正予算による対応を考えているのか。また来年度も別制度としてのイベント補助の考えがあるのか伺う。

答弁
1

予算の範囲内で取り組んでいく

桑田総務部長

まずは、予算の範囲内でしっかり活用いただくよう取り組んでいく考えであり、現在のところ予算の増額は検討していない。

答弁
1

既存の補助金を有効に活用してもらいたい

矢野地域共創部長

地域が抱える課題の解決や元気な地域づくりのため、本年度も実施している協働のまちづくり支援事業補助金を有効に活用してもらいたいと考えている。

質問
2

動物とのふれあいの場づくりを

全国的に各イベント会場にて、期間を限定した動物とのふれあい広場が設けられ、非常に好評との声を聞いている。動物とのふれあいにより気持ちが癒され、思いやりのあるひとづくりにも繋がると考えるがいかがか。

答弁
2

本市としては予定していない

児玉産業振興部長

動物とのふれあい広場を作る予定はないが、市内でもペットカフェの開店等を予定している事業者もあると聞いており、本市としても、観光資源になり得ると考えている。そういった情報の収集・周知等について、市としても協力していきたいと考えている。



どうぶつ広場（平田観光農園）



清友会

やま だ しん いち ろう
山田 真一郎



質問 1 旧市内中心部における三次市公共下水道事業はこのままでよいのか

現在進めている下水道事業を将来に渡って持続可能なものにするためには、より多くの人に利用してもらう必要がある。そのためには、市民から負担金を徴収し、供用エリアを拡げる必要がある。さらには、一般会計からの繰り入れ、使用料の値上げも考えられる。20年以上が経過している公共下水道事業だが、アンケート等により、改めて市民の思いを確認すべきではないかと考えるのがいかがか。

答弁 1 汚水適正処理構想の見直しを検討する時期に来ている

濱口建設部長

現在の汚水適正処理構想を策定してから5年近くが経過し、社会情勢も変化していることから、下水道課では事業の課題や方向性を精査し、汚水適正処理構想の見直しを検討する時期に来ていると考えている。構想の改定に当たっては、検討委員会や第三者委員会での協議が必要であり、さらには地元説明会、パブリック・コメントの意見を踏まえたいと考えているが、現在のところアンケート調査を行う予定はない。



三次水質管理センター



三輝会

よこ みつ はる いち
横光 春市



質問 1 市道等の安全対策は大丈夫か

道路沿いに設置のカーブミラーが倒れ、児童がケガをしたとの報道があった。カーブミラーの耐用年数は10年余りとも聞かすが、市内に10年以上のカーブミラーが多くあると考える。設置箇所、設置基数と設置状況、また安全点検はどのようにされているのか伺う。

答弁 1 新設は国の基準等に基づいている

濱口建設部長

市が管理するカーブミラーは多数存在しており、箇所や基数については把握できていないが、カーブミラーの新設に当たっては、国の基準等に基づいている。

点検については、道路巡視業務委託を月4回、その他、職員によるパトロールを行っている。また、昨年10月から、通行者が道路の異状を発見した場合にはLINE通報アプリで報告を受けている。



カーブミラーの点検

質問 2 周辺部の振興対策に力を入れるべきではないか

6月1日に市政施行20周年記念式典が行われた。この20年間を振り返れば、市中心部の体制を整えた20年間であったと思える。これからの市政については、周辺部の振興対策に力を入れるべきと考えるが、市の所見を伺う。

答弁 2 地域資源を活かして付加価値を創出する

福岡市長

地域の特色や文化、地域資源を活かして、付加価値を創出することが地域の振興につながるものと考えている。三次の活力や付加価値の創出につなげる「共創」を、市民の皆さんに分かりやすく説明しながら、今後の地域づくりを市全体で行っていくよう考えている。



清友会

やす ざね 保実 治

動画



質問
1

市営墓地の「無縁墓」の扱いは

公営墓地の「無縁墓」調査で、「無縁墓がある」と回答した自治体が58.2%であると総務省が昨年発表した。本市の市営墓地に「無縁墓」はあるのか。ある場合の取り扱いはどうなっているのか。空きを待っている市民もいるが、何年で整理するのか。

答弁
1

処分の在り方を検討する必要があると考える

上谷市民部長

本市においては、縁故者情報の把握ができないケースもあり、有無については把握できていない状況である。こういった課題案件を先送りすると、ますます複雑化していくため本年度においては墓地を限定し、現有する情報を基に実態調査をする予定としている。基本的には市が拠出するという自治体が多くあるが、所有権の問題でトラブルになる可能性もあるため、処分の在り方も検討する必要があると考える。

質問
2

三次市災害時協力井戸登録制度の現状は

平成23年の東日本大震災で避難者が一番困ったのは、トイレ、洗濯等に使用する飲用以外の「水」だったという報道を受け、令和3年にこの制度が始まったが、市のホームページによると、登録数は22箇所止まりである。積極的に取り組むべきではないか。

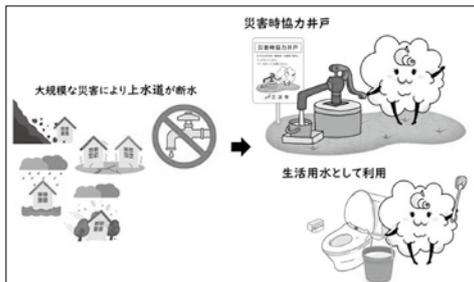
答弁
2

登録が増えるよう周知に努めていく

山田危機管理監

昨年の6月を最後に新規の登録はなく、相談や申出はあったが、広く知ってもらえるところまで進められていない状況である。水道施設が被災し、長期間断水する可能性も十分想定され、取組のさらなる推進は当然必要であると考えている。

定期的な情報発信により重要性を周知し、登録が増えるよう努めていくよう考えている。



災害時協力
井戸イメージ
(三次市 HP)



清友会

しげ のぶ 重信 好範

動画



質問
1

サングリーンでの期日前投票の効果は

本年4月に行なわれた市議会議員一般選挙において、サングリーンに期日前投票所が設置された。近年投票率の低下や若者の政治離れ等、選挙に対しての意識が薄れているように感じるが、この度設置された期日前投票所の効果を伺う。

答弁
1

有権者からも良い反応をいただいている

坂田選挙管理委員会事務局長

買い物に合わせて投票ができるといった便利さもあり、投票された有権者のアンケートでも良い反応を頂いている。継続していけるよう、関係機関と調整をしながら進めていきたいと考えている。

質問
2

寄贈されたグローブの活用方法は

昨年、大谷翔平選手から全国の小学校へグローブが贈られた。本市の小学校へも夢と希望の詰まったグローブが届いているが、児童の意見を取り入れた活用方法がされているのか伺う。

答弁
2

全国の事例等も踏まえながら考えていく

豊田教育部次長

本市の各小学校には今年1月に届き、多くの学校では児童会執行部が中心となり、グローブの活用方法を考案し、有意義に活用している。



大谷選手から贈られたグローブ



明日への風

徳岡 真紀

動画



質問 1 生ごみの再資源化推進へ、生ごみ処理機への補助に取り組む予定はないのか

「資源を循環させるまち」、「地産地消をすすめるまち」など、みよし未来環境会議の中高生の6つの提言を受け、本市として具体的な取組が求められている。循環型社会の構築への観点から生ごみの分別を推進し、たい肥等へ活用するため、生ごみ処理機への補助に取り組む予定はないか。

答弁 1 再度の補助事業は現在考えていない

上谷市民部長

近年は設置することでイノシシ等の鳥獣被害につながることから、撤去する家庭も増えている。また、三次環境クリーンセンターへ生ごみ処理機がごみとして搬入されている実態もある。決して否定するわけではなく、効果があるものだと認識しているが、再度の補助事業については、現在考えていない。

質問 2 三次市の保育などに「ひろしま自然保育認証制度」の活用の考えは

子どもたちを豊かな自然の中で育てたいという子育て世代の声を受け、本市として、広島県の独自制度である「ひろしま自然保育認証制度」を活用し、保育所や森のようちえんなどで自然保育を推進してはどうか。

答弁 2 県内の動向等も考慮しながら調査研究していく

松長子育て支援部長

自然環境を生かした体験活動等は、自然や生命に対する興味や関心を育てるとともに、豊かな心を養うことにつながる機会であると認識し、積極的に日々の保育に取り入れている。認証制度の活用については、それぞれの園における独自の取組や方針についての情報発信の在り方や県内の動向等も考慮しながら調査研究していく。



森のようちえんの活動の様子（東広島市）



明日への風

藤岡 一弘

動画



質問 1 不登校児童生徒の学びの場をどう確保していくのか

令和5年度の本市の不登校児童生徒の人数は114人であり、学びの継続のための居場所や機会の確保など対策は必須である。安全・安心な居場所と学びの場づくりについて、どのような方向性で施策を展開していくのか問う。

答弁 1 対話と協働による組織的な取組を進めていく

豊田教育部次長

学校に登校するという結果のみを目標にするのではなく、地域の中で関わってもらえる人を増やし、どこかで誰かとつながりながら学びができるような場づくりを重視し、個々のニーズに応じた相談・指導などを受ける機会の創出に取り組んでいく。



全ての児童生徒に学び継続の機会を

質問 2 災害時における学校の長期休校に対する学びの継続はどうなっているのか

災害発生時に小中学校の休校が長期化した場合、児童生徒への学びの機会が失われ、大きな不安と影響を与える恐れがある。能登半島地震では2か月ほど中学生が集団避難を行った事例もあるが、長期休校になった場合に対応するため、学びの継続に向けての計画を検討すべきと考えるが所見を伺う。

答弁 2 学習を継続できる体制は整えている

迫田教育長

状況にはよるが、現在1人1台の端末を貸与しており、それを活用しながら、オンラインでの学習支援を行っていくよう予定している。授業支援アプリ、あるいはデジタルドリルを使用することについては日常的に慣れているため、状況が許せば学習を継続できる体制というのは整えている。



会派 未来

たけ だ けん
竹田 憲



質問 1 市民が安心して暮らせる地域づくりを求める

今年4月からの支所機能見直しによって、不安を感じる市民は少なくない。また、災害時などに影響があってはならない。市民の命を守るため、支所と災害対策本部との対応強化と合わせ、避難行動要支援者への対策強化が必要であると考えているが、見解を伺う。

答弁 1 しっかり取り組んでいく

山田危機管理監

市では、本庁、支所を問わず全庁体制、全職員で災害対策を実施することとしており、毎年度、全庁的に事前訓練等に取り組んでいる。また現在、要支援者の個別計画を作成している。まだまだ進めている中ではあるが、しっかり取り組み、避難に支援の必要な方の対応をしていきたいと考えている。

質問 2 市立三次中央病院の医療体制の充実を求める

全国的に医療従事者の不足が問題となっているが、市立三次中央病院の状況はどうか。採用対策として働き方の見直しや、独自の手当の拡充などの検討、医療従事者の更なる資格取得やスキルアップの充実に向けた施策が必要ではないか。

答弁 2 今後も引き続き医療従事者の人材確保策を検討していく

細美市民病院部事務部長

人員不足は当院においても大きな課題として認識している。採用対策としては、貸付制度の周知や大学等への訪問、合同説明会への参加、ホームページ等でも積極的な情報発信を行っている。また、認定看護師や特定行為研修など専門性の高い看護師の育成にも力を入れており、資格取得の費用を全て病院が負担するなどの支援を行っている。また、助産師資格取得についても、引き続き対応を検討していく。



市立三次中央病院



明日への風

まさ だ まこと ひろ
増田 誠宏



質問 1 人口減少が著しい地域への過疎対策事業を充実させるべきではないか

本市の過疎対策事業の配分の多くは、市全体や旧三次市の事業である。過疎法の目的には「人口の著しい減少を伴って活力が低下した地域に、特別措置を講ずることにより持続的発展を支援する」とされている。市街地と人口減少が著しい地域との過疎債の配分を見直すべきではないか。

答弁 1 市全体に俯瞰した視点に立ち取り組んでいく

笹岡経営企画部長

本市の過疎計画は総合計画に掲げる市全体のまちづくりに関連する事業を対象としており、地域間の配分や格差などは設けていない。人口減少や人口流出などは国全体の構造的な課題でもあり、一部の地域に限定するということではなく、市全体を俯瞰した視点に立ち、それぞれの地域の持つ資源等を最大限活用したまちづくりに取り組んでいくよう考えている。

質問 2 市立小中学校施設におけるバリアフリー化の一層の推進を

エレベーター設置は33校中9校と進んでいない。文科省は令和7年度末までの目標として、要配慮児童生徒が在籍する全ての学校に整備するとしている。国庫補助率は $\frac{1}{3}$ から $\frac{1}{2}$ に引き上げられており、有利な起債と併せて実質負担は低減されている。早期に進めていくべきではないか。

答弁 2 関係課と連携しながら検討していく

宮脇教育部長

喫緊の課題である学校施設の老朽化対策とともに、財源の確保が必要ということもあるため、関係課と連携しながら検討していくよう考えている。



「学校施設のバリアフリー化」普及啓発推進ポスター（文部科学省）



公明党

中原 秀樹



質問 1 市民農園の今後の運営計画は

市内2箇所の市民農園については、毎年多くの市民が利用しているが、今後も農業でのコミュニティ作りを拡大していく考えなのか。また、利用が減ってきている市民農園については、市として今後の維持管理をどのようにする考えか。

答弁 1 状況を見据え検討していく

児玉産業振興部長

市内では田植体験等、いろいろな都市との交流事業をされているところもある。そういったサポートや支援ができるのであれば、しっかり取り組んでいきたいと考えている。また、利用が少ない市民農園については、将来的には廃止も見据えた、地権者との協議・検討が必要であると考えている。



福田農園 (和知町)

質問 2 老朽化した河川水利の改修計画は

中山間地域の農業においては、高齢化や後継者不足で集落の農地保全是兼業農家や法人が引き継いでいる。老朽化した河川用水路や取水口が大きく破損し、大型修繕が必要な箇所も多い状況のなか、本市として修復や改修の考えはあるのか。

答弁 2 補助金の活用を検討していただきたい

児玉産業振興部長

一般的に川から取水するための農業用の施設は、地元水利組合等の所有物であるため、地元水利組合等からの要望を受け、採択要件や改修規模等により、国や県の補助事業で市が工事をする事は可能と考える。規模が小さい等の理由で実施できない場合は、三次市土地改良区の小規模農業用施設等改良事業補助金の活用を検討していただきたい。



会派 未来

新田 真一



質問 1 中高一貫校の今後は

県立三次中・高一貫校の一期生が来年春卒業する。高校教育改革が進められ、「持続的な地方創生の核としての機能強化」も言われ三次市でも多くの高校生が市の諸会議などで意見も述べている。中高一貫校の発展のためにも評価すべきと考えるが、所見を伺う。

答弁 1 本市に貢献する人になってもらいたいと強く期待している

迫田教育長

県北中山間地域の活性化については、近隣市町の高等学校も含めて、県北の地で学んでいる子供たちが地域としっかり連携をし、課題の解決に向けて知恵を出し合い大人たちと活動していく。自分たちが社会をつくっていく主体者となる。そういった取組をしていくことは大変価値があり、重要だと考える。

質問 2 学校再配置の方針検証が今必要か

小中学校の再配置の方針が令和4年3月に出された。令和4年から5年にかけて対象となる学校や地域に説明が行われ、今後学校をどうしていくか保護者や地域で議論が今まに行われている。なぜ今方針の検討・調査研究が必要なのか。

答弁 2 早急に検討していく時期に来ていると考える

迫田教育長

基本方針では、児童生徒一人ひとりの豊かな教育環境をどのように保障するかという観点から、必要に応じて検証し見直すということを明記している。完全複式、学年児童数がゼロ、さらには児童生徒数が急速に減少している状況から、学校のあり方については早急に検討していく時期に来ていると考えている。



旧志和地小学校



日本共産党

伊藤 芳則

動画



質問
1

農業後継者対策は必要ではないのか

2ha以下の小規模農家や兼業農家がこれまで農地を守ってきたが、米価下落・資材高騰と高齢化により農業を続けるのが難しくなっている。集積と大型農家への対策だけでなく、小規模でも持続可能になる支援の後継者対策が必要ではないか。

答弁
1

支援事業を講じるよう国に対して働きかけていく

児玉産業振興部長

本市では、果樹や花きの新規植栽条件整備や機械等の購入に対する支援等、農作物の生産振興や規模拡大に意欲的に取り組まれる農家に対する支援を実施している。国に対しても小規模農家や兼業農家に対し、支援事業を講じるよう働きかけを行っていきたいと考えている。



市内で実施された田植え体験

質問
2

鳥獣被害対策強化が必要ではないか

広域的に被害低減に取り組む体制を構築する目的で、被害調査や技術指導を担う「テゴス」を設立したが、三次市は参加していない。全県的な統一した対策が必要ではないか。

答弁
2

現在の体制と比較しながら検討していく

児玉産業振興部長

本市においては被害が起きた場合には、これまでも担当職員や専門員が現地へ行き、実態の把握、被害対策の指導等を行っている。令和7年度以降の「テゴス」の参画については、参画市町の状況、成果などを踏まえて、現在の体制と比較しながら検討していく。



真正会

鈴木 深由希

動画



質問
1

防災・減災の仕組みづくりを

命を守るため、早急に初動避難体制の整備、三次市避難行動要支援者名簿の再確認に取り組むべきではないか。また、防災計画の検討会議等に女性の参画が必要だと考えるがいかがか。

答弁
1

引き続き体制を整えていく

山田危機管理監

市としては、警戒レベルや避難行動を起こすタイミングの周知等、有効な取組の啓発にしっかりと取り組んでいきたいと考えている。支援者名簿については、適切な取扱いがされていると認識している。また、防災会議委員にも女性を任命するなど、これまででも女性の視点を取り入れた防災・減災対策の推進に取り組んできている。



川地小学校避難所の様子(2021年8月)

質問
2

「障害者差別解消法改正」で求められる官民協働の取組を

民間事業者による「合理的配慮の提供」が行政同様、義務化された。意識向上を図るため、行政として義務化の周知に取り組むべきでは。

答弁
2

誰もが暮らしやすい環境を整えていく

影山福祉保健部長

事業者の合理的配慮については、ケーブルテレビや市の広報紙、ホームページ等で周知してきたところである。また三次商工会議所あるいは三次広域商工会を通じて会員事業者には法改正のチラシを配布するなど、必要に応じて周知をお願いしてきた。合理的配慮の方法など個別の相談等があれば、市としても助言を行い、誰もが暮らしやすい環境を整えていきたいと考えている。

議会活性化に向けた具体を調査・研究するため、「議会活性化等検討特別委員会」を設置しました

後列左から

- 細美 克浩（三輝会）
- 増田 誠宏（明日への風）
- 徳岡 真紀（明日への風）
- 中原 秀樹（公明党）
- 片岡 宏文（公明党）
- 竹田 恵（会派 未来）



前列左から

- 國重 清隆（三輝会）
- 委員長：掛田 勝彦（明日への風）
- 副委員長：月橋 寿文（三輝会）
- 山田 真一郎（清友会）

調査期限

調査研究が終了するまで

掛田委員長からひとこと

議会への多様な人材の参画や議会における人材の育成、また議会の活性化に関することを調査研究し、魅力ある議会をめざして今まで以上に市民の皆さまの負託に応える三次市議会となるよう、全力を尽くして参ります。

全国市議会議長会及び中国市議会議長会表彰状について

令和6年6月19日（水）本会議終了後、議長室で伝達式を行いました。

令和6年度の表彰者は表のとおりです。

全国市議会議長会（基準月—令和6年4月）		
特別表彰	25年以上（議員）	大森 俊和
	20年以上（議員）	保実 治 穴戸 稔
一般表彰	4年以上（正副議長）	山村恵美子



中国市議会議長会（基準月—令和6年5月）		
特別表彰	20年以上（議員）	保実 治 穴戸 稔
	16年以上（元議員）	新家 良和 杉原 利明
	12年以上（元議員）	齊木 亨
	12年以上（議員）	山村恵美子 鈴木深由希
普通表彰	8年以上（議員）	横光 春市
		伊藤 芳則
		弓掛 元
		藤井憲一郎



各会派の政務活動報告

本市では、「三次市議会政務活動費の交付に関する条例」により、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議員1人当たり月額30,000円を会派（所属議員が1人の場合も含む。）に対して交付しています。

令和5年度支出状況（議員数：24人）【令和5年4月～令和6年3月分】

（単位：円）

会派	ともえ (5人)	清友会 (5人)	真正会 (4人)	明日への風 (4人)	会派 未来 (3人)	公明党 (2人)	日本共産党 三次市 会議員団 (1人)	
交付額	1,800,000	1,800,000	1,440,000	1,440,000	1,080,000	720,000	360,000	
執行額 計	1,057,928	2,138,274	1,601,450	1,285,434	745,222	728,476	182,792	
内 訳	調査研究費	467,169	366,902	617,686	718,680	186,456	344,750	24,000
	研修費	0	1,158,692	147,766	173,292	51,817	0	0
	広報費	6,750	0	157,831	82,916	3,739	0	0
	広聴費	11,220	21,230	17,160	11,440	21,505	0	0
	要請・陳情活動費	434,659	221,361	319,759	0	128,661	125,599	0
	会議費	14,000	29,310	44,400	8,500	50,626	0	0
	資料作成費	0	33,308	0	40	400	3,030	0
	資料購入費	87,722	238,992	225,698	261,794	140,911	237,050	31,476
	人件費	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	36,408	68,479	71,150	28,772	161,107	18,047	127,316
差引返還額	742,072	△ 338,274	△ 161,450	154,566	334,778	△ 8,476	177,208	

※すべての費目について、支出を証明する領収書等が添付されています。

※三次市のホームページから各議員の支出状況が閲覧できます。

使途基準

調査研究費……………市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費

研 修 費……………研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費

広 報 費……………活動及び市政について市民に報告するために要する経費

広 聴 費……………市民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、相談等の活動に要する経費

要請・陳情活動費…要請・陳情活動を行うために必要な経費

会 議 費……………各種会議に要する経費及び団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費

資料作成費……………資料の作成に要する経費

資料購入費……………必要な図書、資料等の購入に要する経費

人 件 費……………活動を補助する職員を雇用する経費

事 務 所 費……………必要な事務所の設置及び管理に要する経費



新人議員の研修会を開催しました

4月に行なわれた市議会議員一般選挙において初当選した新人議員4名を対象に議員研修会を開催しました。

初めに山村議長から「三次市議会基本条例」について説明を受け、議会運営の原則や市民と議会、議会と市長との関係等、議会の基本姿勢を学びました。次に執行部からは「主要事業及び計画」及び「財政」について説明を受けました。

また議場では、神聖な場所である議場への出入りの際は「礼」をすること等、議場での礼節を学びました。新人議員のこれからの活躍にご期待ください。



議会のうごき

2024(令和6)年
5月1日～7月31日

5月

- 1日 令和6年第1回臨時会
- 14日 議会運営委員会
- 20日 広報広聴常任委員会
- 24日 会派代表者会議、広報広聴常任委員会
- 28日 新人議員研修会

6月

- 4日 議会運営委員会、全員協議会
- 13日 議会運営委員会
- 14日 令和6年6月定例会本会議、議会活性化等検討特別委員会、広報広聴常任委員会
- 17日～19日 6月定例会本会議(一般質問)
- 20日 3常任委員会(議案の調査研究)
- 21日 総務常任委員会
- 24日 教育民生常任委員会
- 25日 産業建設常任委員会
- 26日 予算決算常任委員会、広報広聴常任委員会
- 28日 議会運営委員会、6月定例会本会議、議会運営委員会、全員協議会

7月

- 3日 教育民生常任委員会
- 11日 産業建設常任委員会
- 16日 広報広聴常任委員会、総務常任委員会
- 23日 広報広聴常任委員会
- 24日 市議会トピックス出演(議長)
- 29日 議会活性化等検討特別委員会
- 30日 議会運営委員会
- 31日 教育民生常任委員会

行政視察受入状況

- 5月22日 兵庫県赤穂市議会
(行政評価システムと行財政改革について)
- 30日 兵庫県赤穂市議会(教育改革について)
- 7月10日 佐賀県唐津市議会
(市職員の副業に関する内部規定の明確化について)

議長の定例会見を実施しました

定例会での審議等の総括、議会活動等を広く市民の皆様にお伝えするため、定例会最終日に議長の定例会記者会見を実施しました。

【発表事項】

- 1 令和6年6月定例会の総括
- (1) 議会活性化等検討特別委員会の設置について
- 2 これからの活動方針について
- 3 令和5年度政務活動費収支報告について



議会の傍聴に行ってみよう!

傍聴の案内はこちら



議会はどこからでも傍聴することができます

(事前の予約は不要です)

フロアのご案内・本館	
7F	議場 傍聴室 議会事務局
6F	会議室
5F	教育委員会教育部 (教育企画課 学校教育課 社会教育課) 教育長室 監査事務局

市役所本館7階に議場があります



広報広聴常任委員会
重信委員長

ここが議場のあるフロア(7階)です



徳岡副委員長



スロープを進むと…



片岡委員

傍聴席はこんな感じ

テーブルがあるのでメモを取ることもできます



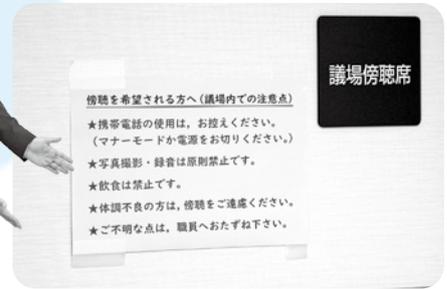
山田委員

傍聴席入り口です

「議場内での注意点」もお読みください。



月橋委員



ここで本会議が行われます



竹田委員

みなさんのお越しをお待ちしています!



お子様連れや車いす等、傍聴に不安がある方は、お気軽に議会事務局(0824-62-6179)へお問い合わせください。



國重委員

傍聴へ来られた方へは

市議会のしおり・傍聴券・アンケートをお配りしています



きりこちゃん
三次観光イメージキャラクター

次回の定例会は**8月30日(金)**に開会する予定です。

請願・陳情の提出は、**8月19日(月) 正午まで**

請願・陳情 市政についての意見や要望を直接市議会に提出すること。
議員の紹介のあるものを請願と言います。



広報広聴常任委員が市内で撮影した、お気に入りの1枚をご紹介します



信原田楽大花田植 (三和町)



小・中学校運動会



あ と が き

この度、1期目・2期目当選の議員10名で、議会活性化等検討特別委員会が設置されました。本年4月の市議会議員選挙においては定数に対し、23名の立候補となり、議員のなり手不足を感じる結果となりました。女性や子育て世代、経営者など多様な人材が議論し合うことで議会が活性化していくものと感じます。魅力ある三次市議会となるようしっかり検討し、同時に議会の広報広聴活動も積極的に行なって参ります。今後も皆様のご意見をお聞かせください。(月橋 寿文)



注目スポット



二本松 (廻神町)

三次には珍しい草原の広がる景色。現在は、二本松牧場がジャージー牛の自然放牧をされている二本松。

昭和21年に疎開者や引揚者19世帯が入植し開拓された地域です。当初は畑として、麦、豆などの栽培をされていましたが、勝負迫池ができたことから、水田での耕作もできるように。

また、この地を「馬場が原(別称:ススキヶ原)」と呼び、牛馬の放牧場となっていた。徳川時代には競馬場として近郷に知られ、物見櫓が組まれ、多くの人を集めていました。(徳岡 真紀)

(引用:神杉の歴史とロマンを訪ねて[神杉地区自治会連合会])

ご意見やお問い合わせは 議会事務局へ

TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110 Eメールアドレス gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp